



メンターの具体的な支援と取り組み

岡山市立総合医療センター岡山市立市民病院

集中治療部 管理看護師長

クリティカルケア認定看護師

特定行為実践看護師

藤井 絵美

岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院

- 二次救急医療機関
- 第2種感染症指定医療機関
- 病床数 400床
 - 結核病床 7床
 - 感染病床 6床
 - ICU 10床
 - HCU 4床
- 手術室 7室
- 血管造影室 2室
- 救急患者 17,703人 (2023年度)
- 救急車 5,110台 (2023年度)



内容

■ e-learning受講機会の提供

■ 研修修了者の活動推進

- 広報活動による活動基盤の整理
- メンターによる支援と取り組み

内容

■ e-learning受講機会の提供

■ 研修修了者の活動推進

- 広報活動による活動基盤の整理
- メンターによる支援と取り組み

2021年から

「臨床判断能力向上」への取り組み開始

当院の特定行為研修実績

2019年度	他施設にて2名受講
2020年度	他施設にて1名受講
2021年度	指定研修機関に指定 (院内看護師対象)
2022年度	メンター制度導入

看護部の目標（2021年度～）

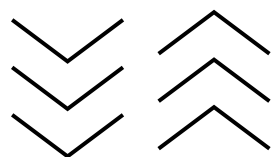
臨床判断能力の向上

- ・ ラダー教育「臨床判断能力」重視
- ・ 臨床判断能力向上研修（CBL開始）
※Critical care Buddy Learning

組織定着化支援事業は 当院看護部の方針に合致！！

－ 組織定着化事業 －

概ね卒後**3年以上**の経験を有する看護師に**e-learning**による共通科目の受講機会の提供



－ 当院看護部の方針と課題 －

現任看護師の臨床判断能力向上のための教育

e-learningを活用した研修の実際

推進の目的

アセスメントと臨床判断
能力向上

特定行為実践看護師に
対する関心と理解

特定行為研修受講への
動機づけ

2023 年度	- 組織定着化事業参加 - 看護管理者47名がe-learning視聴 「フィジカルアセスメント」 「臨床推論」
2024 年度	クリニカルラダー研修Ⅲ・Ⅳ 「臨床推論」を <u>特定行為研修のe-learningを活用 した研修へ大幅変更</u> 各部署で選出された<u>24</u>名が参加 e-learning「臨床推論」35時間の うち<u>32時間程度を勤務内で視聴</u> 事例検討（集合研修）で知識の統合

内容

■ e-learning受講機会の提供

■ 研修修了者の活動推進

- 広報活動による活動基盤の整理
- メンターによる支援と取り組み

特定行為実践チーム

※看護師特定行為研修修了看護師＝特定行為実践看護師

特定行為
推進委員会

特定行為教育
研修センター

**特定行為実践
チーム**

■ 特定行為実践チームの目的と役割

- 実践看護師の管理
- 卒後教育
- システム構築
- 広報
- 安全管理

特定行為実践チーム、研修センターミーティングでの検討内容は月1回開催される特定行為推進委員会で共有



特定行為実践チーム メンバー



リーダー医師（循環器内科）



リーダー看護師（看護師長）



医師（4人）

脳外科、麻酔科、救急科、皮膚科



特定行為実践看護師13人

（2025年1月現在）

一般病棟 7人、外来 1人

集中治療部 2人

看護部 2人、手術 1人



オブザーバー：副看護部長

当院における特定行為実践看護師

および特定行為研修を修了した区分（または行為）

[illegible]

例①：人工呼吸器の設定変更・血ガス

医師



- 外来中だし、この後OPだし今すぐに動けないんだよな
- ○○さんの人工呼吸器の離脱したいんだよな
- そのために設定変更したいんだけど血ガスで評価しておきたい
- 研修医も手術に入っているし他に誰かに頼めないかな



特定行為実践看護師に依頼してみよう！



例②：動脈ラインの挿入

医師



動脈ラインが抜けたと報告があったけど外来中だしすぐに行けないな
この患者さんは状態が不安定だしAラインはすぐに必要だよな
この先生をお願いするのもなんだか気が引けるな
誰かAライン挿入してくれないかな



特定行為実践看護師に依頼してみよう！



医師と広報活動

1. 医局会での説明と広報
2. 各科カンファレンスに参加
 - 特定行為看護師実践看護師が活用できるシチュエーションを具体的に説明➡症例数増加

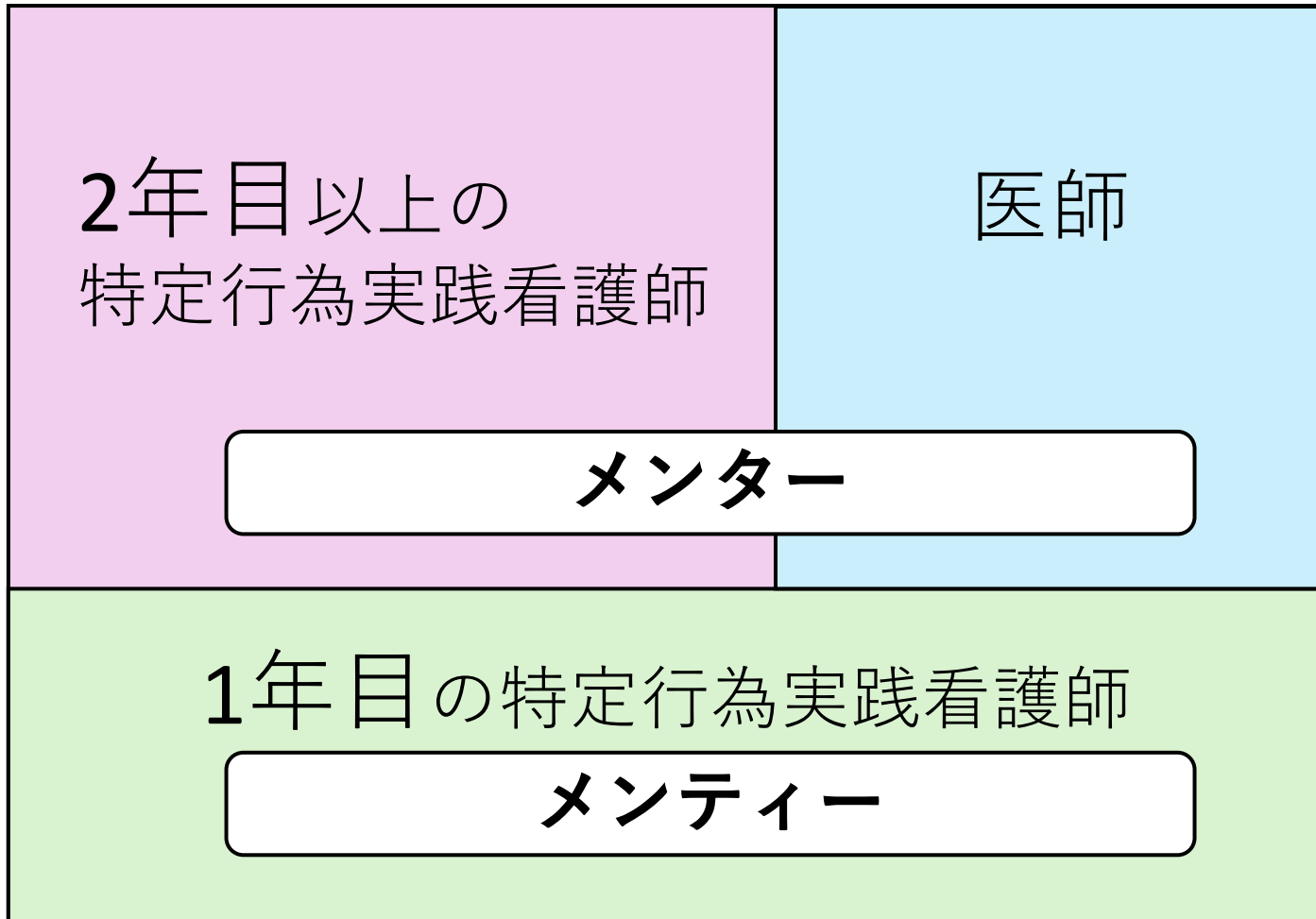
内容

■ e-learning受講機会の提供

■ 研修修了者の活動推進

- 広報活動による活動基盤の整理
- メンターによる支援と取り組み

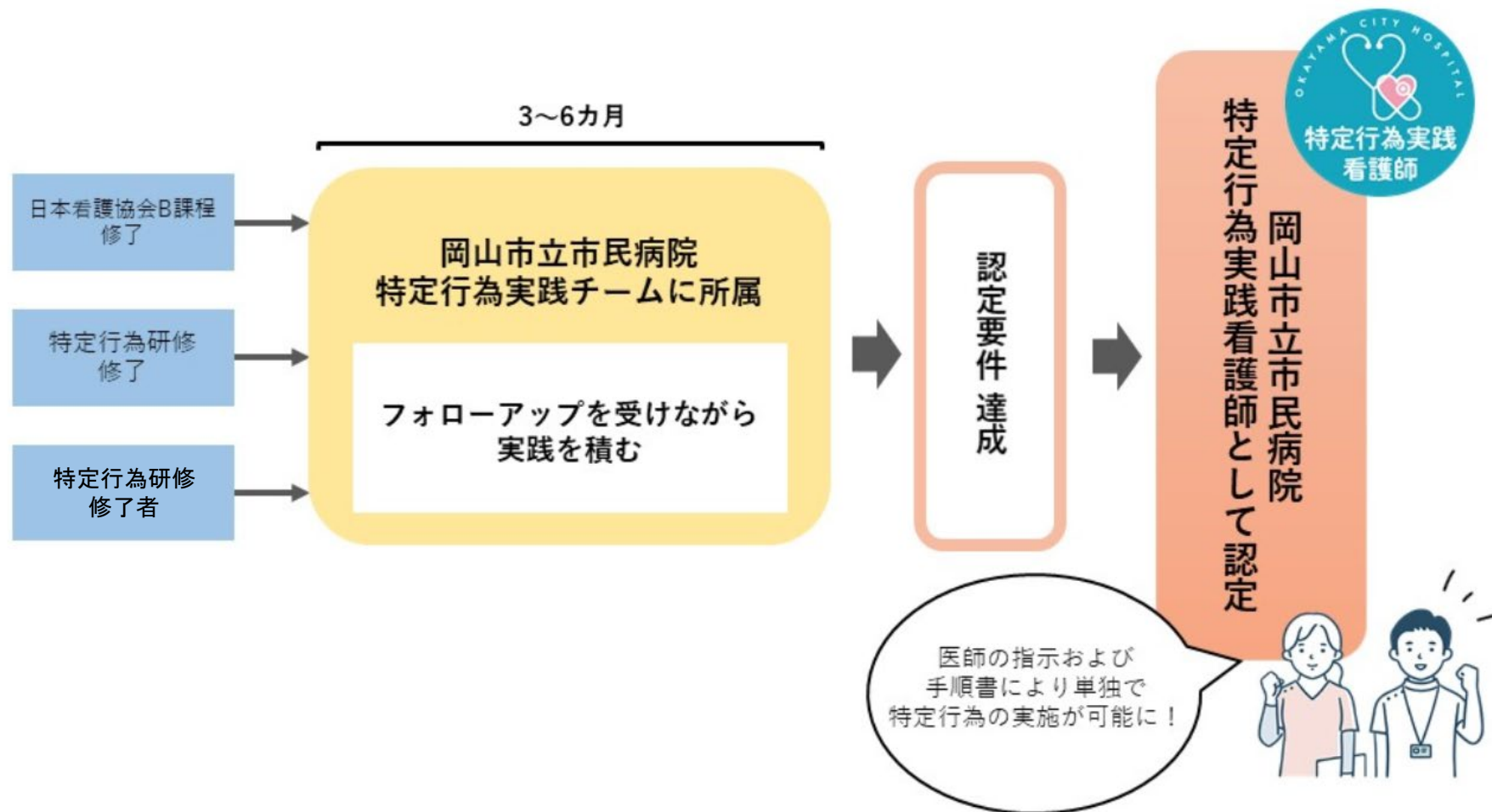
特定行為実践チーム内での メンターの位置づけ



メンターによる フォローアップ体制の構築

2022年度	卒後トレーニング開始 <u>看護師のみ</u> でフォローと評価
2023年度	<u>医師・看護師</u> とで 卒後トレーニング開始
2024年度	医師による特定行為 フォローアップ研修開催

岡山市立市民病院 特定行為実践看護師認定までの流れ



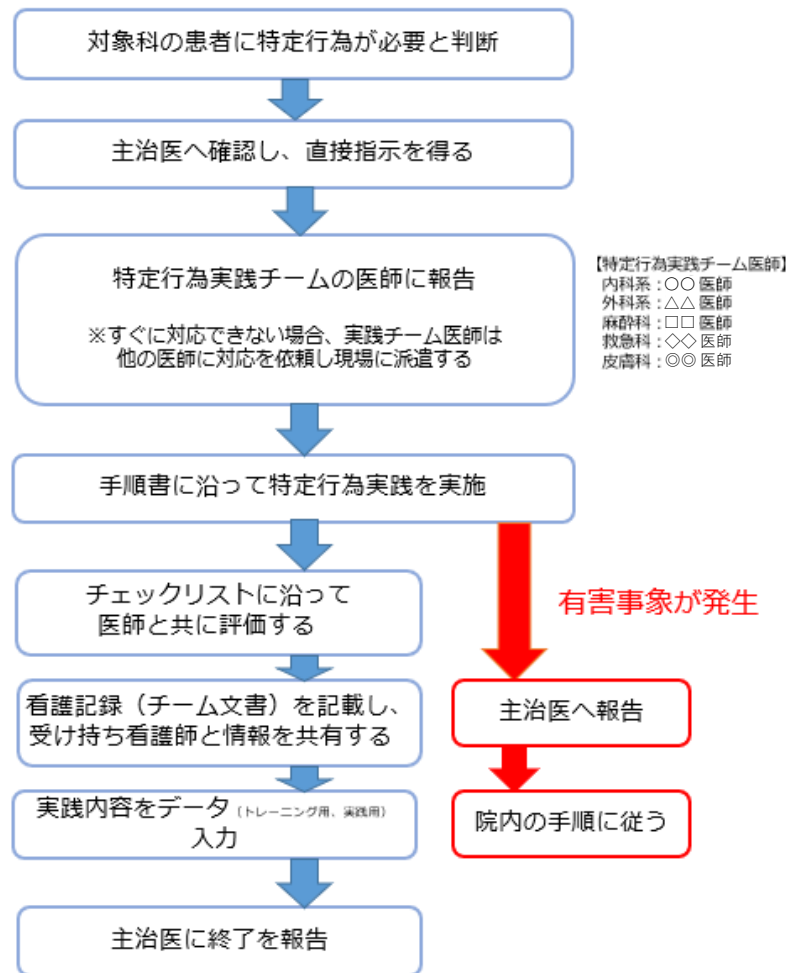
卒後トレーニング

➤ 卒後約3か月間の
トレーニング

➤ 臨床現場で直接指導

動脈血液ガス採血や
動脈ラインなど侵襲的
な行為を中心に医師や
特定行為実践看護師と
トレーニングを重ねる

特定行為実践トレーニングフロー（自部署内）



技術チェックリスト

直接穿刺法による採血

日付： 研修生氏名： 患者ID：

症例の複雑さ： ☐ 易 ☐ 平均 ☐ 難

評価者： ☐ 医師 ☐ 特定看護師 ☐ その他（ ）

評価基準： 基準未満：0点 基準境界：1点 基準相当：2点

評価項目	0点	1点	2点	評価不能
■ 患者の病態が把握できている	☐	☐	☐	☐
■ 動脈採血の必要性について述べることができる	☐	☐	☐	☐
■ 手順書の範囲内又は範囲外であると判断できる	☐	☐	☐	☐
■ 患者への説明ができる	☐	☐	☐	☐
■ 必要な物品準備が不足なく行える	☐	☐	☐	☐
■ スタンダードプリコーションが行える	☐	☐	☐	☐
■ 穿刺に適切な動脈が選択できる	☐	☐	☐	☐
■ 血管の拍動を正しく捉えることができる	☐	☐	☐	☐
■ 血管の走行に対し60度から90度の角度で刺入できる	☐	☐	☐	☐
■ 確実に針先を固定して必要量のサンプルを採取することができる	☐	☐	☐	☐
■ 安全に使用後の針の処理が行える	☐	☐	☐	☐
■ 確実に止血ができる	☐	☐	☐	☐
■ 挿入困難な場合、適切なタイミングで他者へ交代を依頼できる	☐	☐	☐	☐
■ 痛みについて確認し対応できる	☐	☐	☐	☐
■ 神経損傷の徴候が観察できる	☐	☐	☐	☐
■ 穿刺部位の出血・血腫の観察ができる	☐	☐	☐	☐
■ 意識状態、循環動態、呼吸状態の変化を確認する	☐	☐	☐	☐
■ 手技に伴う合併症の徴候がある場合、速やかに初期対応できる	☐	☐	☐	☐
■ 起こりうる合併症について、患者へ説明ができる	☐	☐	☐	☐
■ スタッフに対し行為後の注意点・合併症について説明ができる	☐	☐	☐	☐
■ 行為中に報告すべき事象が発生した場合には、速やかに指示医へ報告・相談できる	☐	☐	☐	☐
■ 行為修了後、直ちに指示医へ修了と有害事象、血液ガス分析結果をアセスメントし報告ができる	☐	☐	☐	☐
■ 特定行為の必要性、手順書の範囲外となる病態の有無、行為中の特記すべき事項、有害事象の有無、医師への連絡について記録することができる	☐	☐	☐	☐

良かった点

改善すべき点

評価点 (28点以上)	／46点	備考
評価者サイン：	日付：	

卒後トレーニング メンター**医師**の役割

- 技術指導
- 技術チェックリストで評価 → 6割で合格
- 実践チーム所属の医師が分担して担当

内科系→循環器医師

外科系→脳神経外科医師

集中治療部→麻酔科

態度チェックリスト

卒後トレーニング メンター**看護師**の役割

- トレーニングの日程調整
- 特定行為実践症例の選択と交渉
- 医師との時間調整
- 実践前後の手順指導
- 特定行為実践看護師としての姿勢について指導
- 態度チェックリストでの評価
→ 6割で合格

直接穿刺法による採血

日付： _____ 研修生氏名： _____ 患者ID： _____

症例の複雑さ： ☐ 易 ☐ 平均 ☐ 難

評価者： ☐ 医師 ☐ 特定看護師 ☐ その他 ()

評価基準： 基準未満：0点 基準境界：1点 基準相当：2点

評価項目	0点	1点	2点	評価不能
■ 患者の病態が把握できている	☐	☐	☐	☐
■ 動脈採血の必要性について述べるができる	☐	☐	☐	☐
■ 手順書の範囲内又は範囲外であると判断できる	☐	☐	☐	☐
■ 患者への説明ができる	☐	☐	☐	☐
■ 必要な物品準備が不足なく行える	☐	☐	☐	☐
■ スタンダードプリコーションが行える	☐	☐	☐	☐
■ 穿刺に適切な動脈が選択できる	☐	☐	☐	☐
■ 血管の拍動を正しく捉えることができる	☐	☐	☐	☐
■ 血管の走行に対し60度から90度の角度で刺入できる	☐	☐	☐	☐
■ 確実に針先を固定して必要量のサンプルを採取することができる	☐	☐	☐	☐
■ 安全に使用後の針の処理が行える	☐	☐	☐	☐
■ 確実に止血ができる	☐	☐	☐	☐
■ 挿入困難な場合、適切なタイミングで他者へ交代を依頼できる	☐	☐	☐	☐
■ 痛みについて確認し対応できる	☐	☐	☐	☐
■ 神経損傷の徴候が観察できる	☐	☐	☐	☐
■ 穿刺部位の出血・血種の観察ができる	☐	☐	☐	☐
■ 意識状態、循環動態、呼吸状態の変化を確認する	☐	☐	☐	☐
■ 手技に伴う合併症の徴候がある場合、速やかに初期対応できる	☐	☐	☐	☐
■ 起こりうる合併症について、患者へ説明ができる	☐	☐	☐	☐
■ スタッフに対し行為後の注意点・合併症について説明ができる	☐	☐	☐	☐
■ 行為中に報告すべき事象が発生した場合には、速やかに指示医へ報告・相談できる	☐	☐	☐	☐
■ 行為終了後、直ちに指示医へ修了と有害事象、血液ガス分析結果をアセスメントし報告ができる	☐	☐	☐	☐
■ 特定行為の必要性、手順書の範囲外となる病態の有無、行為中の特記すべき事象、有害事象の有無、医師への連絡について記録することができる	☐	☐	☐	☐
良かった点				
改善すべき点				
評価点 (28点以上)	/46点			備考
評価者サイン：				日付：

特定行為実践看護師 バッヂ授与

- 約3か月のトレーニング合格後、特定行為実践看護師として院内認定バッヂを授与
- バッヂ授与後より特定行為実践看護師として一人立ち
 - RRT担当の特定行為実践看護師とペアで活動
- 勤務表をアプリで共有しいつでも相談ができる体制



医師による フォローアップ研修

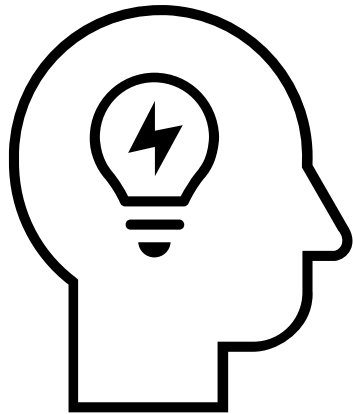
■ 研修項目

- ✓ 動脈血採取
- ✓ 動脈ライン
- ✓ エコーなど

知識と技術の維持と
アップデートを目的
に研修を医師主体で
企画

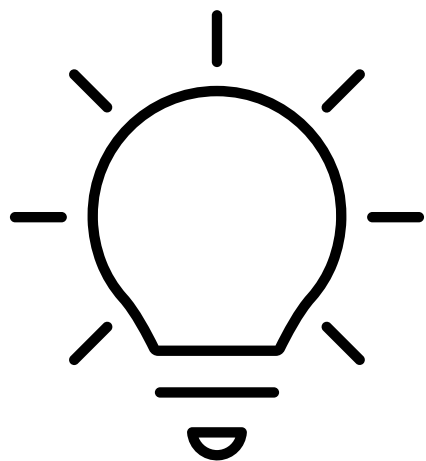


現在の課題



- 特定行為実践看護師が抱えている不安や問題の把握が不十分
- 特定行為という手技だけでなく臨床判断などの相談にも応じる
- 現場のマンパワー不足
 - ・ 依頼があっても現場から抜けにくい
 - ・ 所属部署により担当回数に差がある
 - ・ 特定行為当番が平日のみ
- 所属部署、看護管理者のさらなる理解と協働

今後の展望



- メンター制度の強化
 - 固定のメンター制度を導入し定期面談を実施
 - 特定行為実践看護師としての年間目標を計画立案
- 相談やアセスメント指導件数の把握
- 看護管理者の特定行為推進委員会への参加



ご清聴ありがとうございました